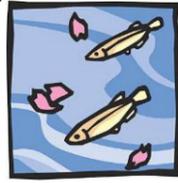


はじめの一步



新潟県立小出特別支援学校進路指導部
NO. 115 (令和6年7月24日)

高等部後期現場実習・校内実習

高等部では、令和6年6月10日(月)から6月28日(金)の3週間、現場実習、校内実習を行いました。今回もたくさんの事業所様から御協力いただきありがとうございました。

<後期現場実習協力事業所>

(株)三国東洋	サトウ産業(株)	(株)諸長 [◎]	(株)小玉屋	(株)白旺舎	(有)吾妻家
(株)ウエルシア小出東店 [◎]	(株)ブルボン魚沼工場 [◎]	(株)魚沼わさび苑	魚沼更生園	やいろの里	なないろ
堀之内工芸	ひろかみ工芸	湯之谷工芸	わかあゆ社	まきはたの里	新潟県あけぼの園
ひかり工房	ワークセンター小千谷さくら				

◎は新規実習協力事業所

保護者の皆様からの実習アンケートより、「実習を通して見られたお子さんの成長」、「保護者様が学んだことや感じたこと」を御紹介します。



【お子さんにどんな成長が見られましたか】

- ・雰囲気、作業内容、施設により異なるなかで、それぞれの状況に合わせて最後まで頑張っている姿に成長を感じました。
- ・実習内容を家でも正確に報告し、規則正しく生活し、安定して実習に臨むことができていた。
- ・現場でも思っていた以上になじみ、身体を動かすことができていました。
- ・2度目の実習先だったので覚えていた作業が多くあり、少しとはいえ効率を考えながら動こうとしていた。
- ・普段の時間帯とだいぶ違う生活リズムだったが、問題なく実習を終えとても成長を感じた。
- ・その日に作る箱の数を毎日更新していた。
- ・好きな作業があることが分かった。終わりが見え、結果が分かる作業が合っていると思った。
- ・家ではあまり疲れた様子が見られず、我慢することなく作業ができていたと思った。
- ・挨拶できていたことがよかった。
- ・本人にとって難しい作業でも、最後までやり遂げようと真剣に取り組んでいる姿に成長を感じた。
- ・挨拶や報告の声が出ていて、学校での取り組みを実習で発揮することができた。
- ・働く日々はどういうものか、少し理解したのではないかと思う。
- ・実習先の方からほめていただく場面もあり、とても前向きで自信につながった。
- ・目標をもち目標を達成できたようで、3年生の目標の“決意と覚悟”をもって取り組んだのだと思った。
- ・本人なりにその場その場で対応できるようになってきたと感じた。

【保護者の方が学んだことや感じたこと】

- ・改めて実習先の御協力に感謝の毎日だった。作業中はもちろん、休憩中も孤立することなく話しか

けていただき、実習中の様子を楽しそうに話してくれ有難かった。

- ・実習中にやらせてもらったことを自宅でも実践しており、毎日の積み重ねがとても大事だと思った。
- ・本人のやる気が一番大事だと思うが、やる気をもたせそれを保つことは難しいことだと改めて感じた。
- ・実習先の方や先生方が支えてくださり、まわりに支援者がいることで実習が成り立っていることがよく分かった。
- ・自分自身で得意なこと・不得意なことを理解するきっかけになったのではないかと感じている。自分で、進みたい道を選ぶためのとても大切な実習だと思った。
- ・最後までやり切れるかとても心配だったが、弱音も吐かずにやり切ることができ、立派だと感じた。
- ・本人の希望を確認することは難しいことだが、少しでもくみ取って多方面から考えていく必要があると思った。
- ・コミュニケーションが取れないと相手に理解されにくい。少しでも、見て分かる返事(はい、いいえ)ができればいいと思った。
- ・至らなかった点多かったはずであるが、実習先の皆様から褒めていただき、自信になったようだ。ずいぶん大人になった感じもする。日々どうしても褒めることより注意することのほうが多く、本人をほめて伸ばすことが大事であると感じた。
- ・挨拶など普段自然と自分からできていないと実習先ではできないことなので、毎日の生活の中で当たり前前にできるようにすることが大事だと思った。
- ・学校と違い年齢の幅があり、同年代以外の方との関わり方を今後の実習で学んでいかなければと思った。

次に、現場実習先からのアンケートより、「生徒の様子から感じたこと」、「生徒に求めたいこと」「保護者の対応で感じたこと、家庭に求めたいこと」を御紹介します。

【生徒の様子から感じたこと(実習協力事業所より)】

- ・挨拶と返事が大変良かった。そのため、まわりとのコミュニケーションも自然にできていたので、引き続き挨拶と返事は大きな声で行ってほしい。
- ・年齢が違う方の中で作業をすることは不安であったと思うが、しっかり仕事をしていた。会話までは難しいが、先輩の指示を聞き教えてもらいながら過ごすことができていた。
- ・以前の実習時よりも作業への集中力が増したように感じた。
- ・はきはきした受け答えがよかった。
- ・一つの作業が終わったときに次の作業を聞きに来るなど、仕事への意欲を感じた。
- ・3週間の実習で、作業のほかにも挨拶、返事、報告もきちんと頑張らなきゃという姿勢を感じた。
- ・できる範囲で本人からの発信やコミュニケーションが増えていくとよいと感じた。



【生徒に求めたいこと(実習協力事業所より)】

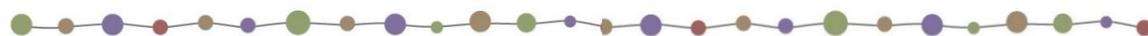
- ・体力が求められる仕事であるので、身体造り、体力造りを目指してほしい。
- ・自分からの発信ができること。
- ・作業のクオリティ
- ・何かをしながら一人で過ごせること。

- ・上手にできなくてもやり直しと言われても、ふてくされずに頑張ること。
- ・自己流にならずに丁寧に手順通り行うこと。

【保護者の対応で感じたこと、家庭に求めたいこと（実習協力事業所より）】

- ・お子様が作ったサラダを見て感動している保護者の姿に感動した。
- ・毎日時間厳守で送迎して下さったり、依頼したことや相談したことにすぐに対応して下さったりして良かった。
- ・見学して頂き、場所や作業内容等を知っていただいたことが良かった。
- ・家庭での様子が分かるように実習ノートを書いていただき良かった。
- ・今後の自立のため自力での通勤をお願いしたい。
- ・実習生の作業態度から、家庭でのしっかりとした躰が感じ取れた。
- ・どんなことでも挑戦させることが大事だと思う。
- ・持ち物の御協力や体調管理に努めていただき有難かった。

保護者の皆様には、実習ノートの御記入、お弁当作りや体調管理等御協力いただきありがとうございました。また、お子様の実習先へ見学に行ってください、その様子を御家庭と学校とで共有できたことをありがたく思います。今後のお子様の進路選択に生かしていきたいと思っております。



～御案内～

<魚沼オープンファクトリー2024>

魚沼市内の「モノづくり・ヒトづくり」企業を見学するチャンス!!

“魚沼 OPEN FACTORY”は、魚沼の人口減少対策と産業活性化対策のひとつとして実施するものです。子どもたちと親御様から市内の企業を見て知っていただき、これからの「人材育成と技能者・技術者」の確保を目的とし、地元の企業で働いていただく事を目指した取り組みです。

開催期間：7月25日(木)～8月23日(金)

完全予約制 ※企業によって見学可能な日程・時間が異なります。

https://uonuma.mypl.net/article/ijuu-kigyuu_uonuma/76513 から、参加企業、日程等を掲載しているチラシをダウンロードすることができます。または、QRコード↓をご活用ください。



当校のホームページを是非、御覧ください。 URL <http://www.koide-tk.nein.ed.jp/>

お問合せ等がございましたら、進路指導部まで御連絡ください。

新潟県立小出特別支援学校 進路指導部 TEL 025-792-5412